

R4 開始

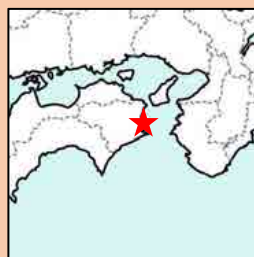
こまつしまし
小松島市（徳島県）～主な品目～
水稻

実施体制

小松島市生物多様性農業推進協議会（小松島市、JA東とくしま、コープ自然派事業連合、とくしま有機農業サポートセンター、生物多様性に関連する地元企業、生物多様性農業に取り組む農業者等）

面積情報

有機農業取組面積：－ ha 耕地面積に占める割合：－ %



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大（水稻） R3年度 37.4 ha → R9年度 47.4 ha
 有機農業に取り組む農業者数の増加 R3年度 28 経営体 → R9年度 33 経営体
 PGSを参考とした相互確認 R3年度 0 件 → R9年度 2 件

2 有機農業を拡大していく上での課題

農業全体の流れと同じく、有機農業に取り組む農業者についても高齢化及び後継者不足が著しい。取組を維持・拡大していくためにも、担い手の確保が課題である。

拡大をはばむ雑草の紹介

ホタルイ・オモダカ・コナギ（5月頃）

【対策】

適切な水位を保つことにより、発生を抑制する。

3 課題に対する取組のポイント・成果

有機栽培への転換を促す有機栽培技術講習会や有機栽培に取り組む農業者向け土壌分析勉強会、専門家やJA東とくしまと連携した有機農産物のブランディング・販売等の講習会等を開催し、有機農業に取り組む農業者を育成した。

【取組による定量的な成果】

特定環境負荷低減事業活動実施計画の認定を受けた
 市内農業者 R4：0名 → R5：14名

ポイントとなる技術

・BLOF理論（Bio Logical Farming）

土壌分析により把握した、客観的なデータに基づき行う土づくりを基本とした有機農業の実践手法。



▲理論の概要

4 主な取組内容

①生産

- ・有機栽培技術講習会をはじめとした、各種講習会の開催
- ・地元企業による地域資源を活用した堆肥の製造・販売
- ・NPO法人による、有機農業を志向する新規就農者の育成支援

②加工・流通

- ・JA東とくしまと連携した市産有機農産物のブランディングと各種イベントでのPR活動実施
- ・身体に美味しい農産物コンテストへの出品経費補助

③消費

- ・市内で開催されるオーガニックエコフェスタへの協賛を行い、消費者に対し有機農産物のPRを実施
- ・市内小中学校の米飯給食において、一定期間、栽培期間中化学肥料及び化学合成農薬不使用の米に全量置き換え（試験実施中）
- その他、有機農産物の給食導入に向けた、生産者と関係者の連絡調整を支援



▲資材製造の様子



▲販売されている米の例
 左：ツルをよぶお米（コープ自然派）
 右：あいさいー米（JA東とくしま）